

史もやま話

法事にあう

「遠慮なくよばれに来ました」。ご法事にお参りにみえた方からよく耳にした言葉です。以前は何をよばれに来たのだろうかよく分からなかったのですが、挨拶の後お仏壇にお参りし自席に座られる姿を何度も拝見して気づきました。阿弥陀さまそしてお浄土で仏さまとなられた故人に「呼ばれて」参拝に来ましたということであったと……。

今夏はコロナウイルスの感染予防のため例年とはまったく違うお盆でしたが、故郷に向かう様子を「厳肅な里帰り」と言った方があります。故人の面影を胸に抱きながら初盆にまた墓参に向かう方々の心情を良く表しています。親鸞聖人のご和讃に「生死(しょうじ)のうみにうかみつつ有情(うじょう)をよばうてのせたまふ」とあります。阿弥陀さまはお浄土から迷いの世界(生死の海)に来たりて、私たちが必ず救うと常に呼びつづけて(よばうて)いておられると南無阿弥陀仏のお心を

お示しくされました。

ある保育士さんが「毎日離乳食の用意やおしめの交換と洗濯、昼寝など保育に追われてつい焦ったりいらしているとき、子どもたちは私のところを敏感に感じ取って、私に抱きついてくるのです。こちらから抱きしめてあげなければいけない私が、小さな子に抱きしめられ、いらしている自分に気づかされるのです」と語っていましたが、日々の自分自身の生活と重なります。お念仏の教えも同様で、仏さまをこちらから拝んでいると思いがちですが、それよりも先に仏さまが私を拜んでおられるのです。

以前3才になる孫が初めて会った人に「〇〇ちゃん、三つになってしまったの」と挨拶して驚かされたことがあります。今年高齢者の仲間入りをした私が「とうとう65才になってしまいました」なら分かります。しかし3才の幼子が言う言葉ではないと思ったのですが、きっと今度のお誕生日で三つになるんだよと言われ続け待ちかねていた思いがその言い方になったのでしょうか。「夕闇に母をとらえし帰省かな」(佐藤林太呂)、遠く離れた子どもや孫たちを待ちかねて、玄関でたたずんで待っている親の姿が目飛び込んできた様子が伝わってきます。

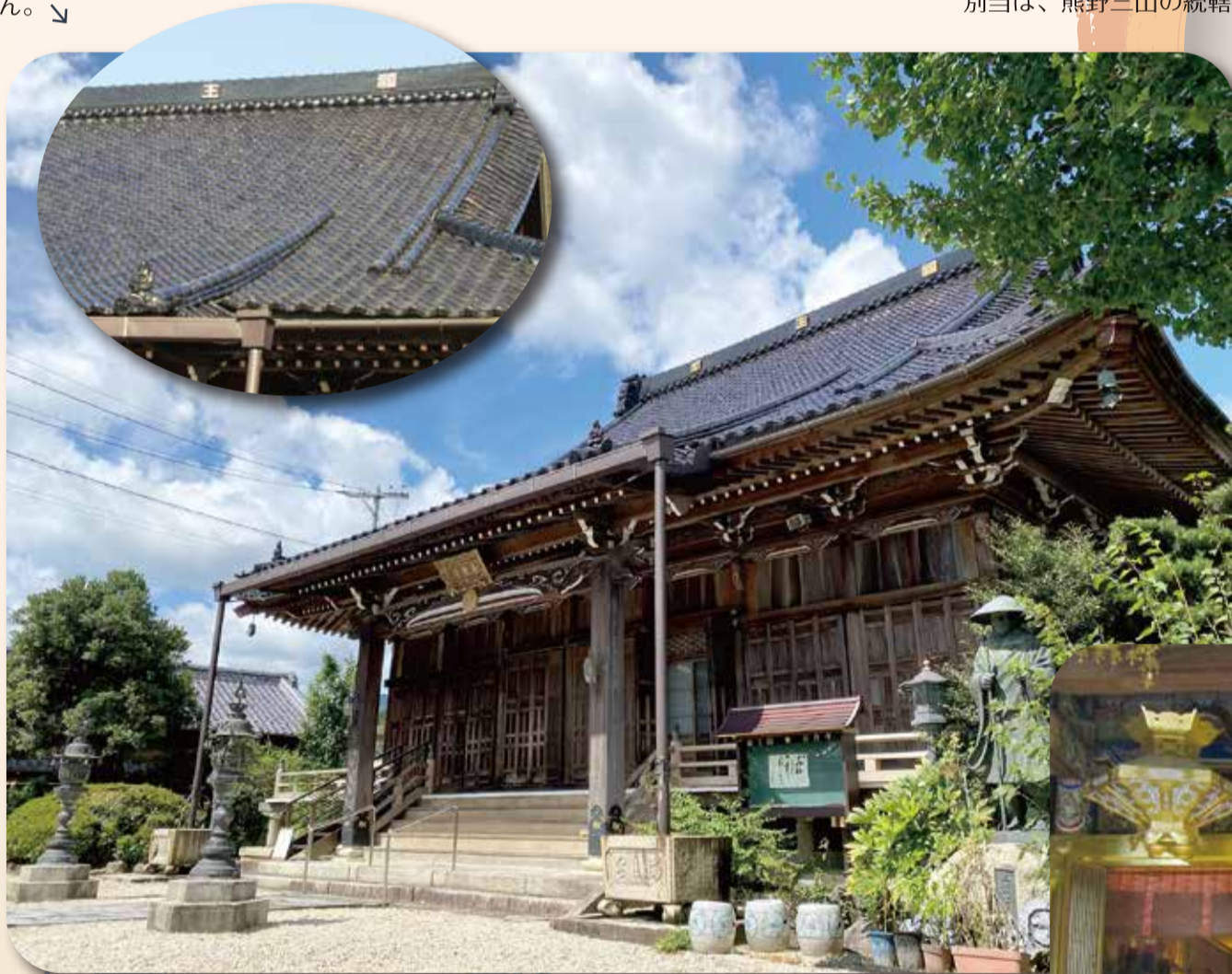
仏教では私たちが今生きている世界を、濁って先が見えないので濁世(じよくせ)と表します。その不安の中で生きている私達を心配し、常に待ちかね呼びつづける大きな命のつながりを深く感じさせることによって生きる力とよろこびを与えてくださるのがご法事にあうということではないのでしょうか

佐々木淳成(東員町南大社 欣浄寺)

寺院紹介

善教寺(菰野町田口)

善教寺は員弁組の寺院番号1番です。なぜ1番か本山別院に聞いてみたが分かりません。組で決めたらしいですが、記録もなく今となっては不明です。員弁組の南西の隅に所在し、昔の地図では南が上(かみ)なので、1番になったのかもかもしれません。▽



→ともかく、門徒様にとって寺院番号1番で福王閣は特別感があるようです。「なにしろ金閣、飛雲閣、福王閣だからな」とおっしゃった方もあります。住職にとってはありがたいことです。ご先祖方に感謝しなければなりません。

そのご先祖の由来は、江戸時代初頭の本山受領書があり、これによると「善教寺の開基については、尾州大鳥居より田口に移住した」とあります。尾州大鳥居とは、長島城を中心とする支城の一つでした。つまり、私たちの先祖は、住職及び一部の門徒衆を含めて、長島願証寺の一揆衆とその支援者であったことが推測できます。

善教寺の初祖「法順」は、熊野修験道の別当家の出身と伝えられています。熊野別当は、熊野三山の統轄にあたった役職であり、平安時代から始まりましたが、南北朝時代の中ごろには崩壊し没落しました。「法順」は戦国末期の人ですが、長島一揆の参加には、浄土真宗への強い思いがあったことでしょう。私たちの姿勢が、ご先祖から問い直されています。

また、田口の神社は式内社で穂積神社といえます。現在は福王神社に合祀されて毘沙門堂の右上にその社殿がありますが、その跡地は善教寺の近くです。善教寺住職の姓も穂積ですが、その関係は不明です。

本堂は3度立て直されて大きくなりました。現在の本堂は、江戸末期の安政のころに建設が始まりました。おそらく安政の大地震で大きく破損し、建て替えられたものと思われます。2014年に耐震を含めて構造改修工事が行われて、大地震の再来に備えました。大災害を越えて後世に引き継がれれば、住職としてたいへんありがたいことと存じます。

穂積致章(善教寺)



▽また、善教寺の山号は「福王閣」です。「閣」でよいのか本山に訪ねたら、登録は寺号のみであり、それ以外はお好きなようにとの答えでした。

山号はもともとは寺の場所を示しました。比叡山延暦寺、高野山金剛峯寺などが代表です。しかし、真宗の山号は場所というよりも、田舎にあっては山のようなお堂の名前となっています。ならば「閣」はふさわしい名付け方です。さらに、福王山善教寺では神社と区別がつかなくなります。→

佛壇
佛具

五大

旧社名 稲井屋 本店

桑名本店 稲沢店 四日市店
桑名本店 桑名市南寺町69 TEL 23-2918

お仏壇の1日クリーニング!



5千円~6万円<5いとリースナフルに
クリーニング、きれいにいたします!
お仏壇・お仏具はもちろん修理も
お受けいたしております

(有)日置佛壇店

三重県員弁郡東員町中上419-1
店舗 ☎(0594)76-0333 工場 ☎(0594)76-3072
営業時間 AM8:30~PM6:30 定休日火曜日

墓石・石材工事一式

石 慶

大安町石博南

デンワモヤッパライシヤ

☎78-0148

(工場) ☎78-2039

